



# 週報

## ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度国際ロータリーのテーマ



No.01305 2021.6.28 第29例会

### ◆本日のプログラム

6月28日(月)  
「退任挨拶」

会長 平松 信 会員  
副会長 相原利行 会員  
幹事 鈴木一生 会員

### ◆次回のプログラム

7月5日(月)  
「就任挨拶」

会長 岡本 浩三 会員  
幹事 日笠 伸之 会員

## Rotary Opens Opportunities

### ◆理事・役員 (2020.7～2021.6)

会長 平松 信  
副会長 相原利行  
幹事 鈴木一生  
副幹事 久松哲生  
理事・S.A.A. 野田洋市  
副S.A.A. 児島正典

会計 西岡貞則  
理事・職業奉仕 橘高正剛  
理事・社会奉仕 原全伸  
理事・国際奉仕 小菅英司  
理事・青少年奉仕 嶋井利典  
理事・会員増強 竹本千代子

理事・プログラム 入江直人  
理事・親睦活動 福元裕之  
理事・ロータリー財団 小松忠男  
直前会長 山下浩一  
次期会長 岡本浩三

地区のスローガン 「こころの扉を開こう」

クラブのスローガン 「こころを一つに」

## 岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ  
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階  
TEL (086) 222-9590・222-0384 FAX (086) 224-4288  
E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ  
E-mail: [suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp)

## イニシエーションスピーチ

井川 浩典 会員



昨年の12月に入会いたしました井川でございます。本日はイニシエーションスピーチの機会を頂き、ありがとうございます。このようなイニシエーションスピーチの場があるとは思っていませんでしたので、初めてスピーチさせていただいた際、色々お話しさせていただきましたので、重複いたしますが、皆様に私の事を少しでも知っていただきたく、趣味や仕事の話をお話しながらお話しさせて頂ければと思います。つたない話になろうかと思いますが少しでもお付き合いいただければと存じます。

私は、川西会員、高橋会員のご紹介を賜りまして、入会させていただきました。経営者としての見聞を広めること、地域に貢献することを目的に、元々RCなどの団体には少し興味を持っておりました。しかしながら、いざ、お話をいただくと、私が会員として役目を果たせるのか不安がよぎりました。運よく、以前よりお世話になっておりました、与田会員も入会済みとのことで、気持ちが少し楽になりました。また、高橋会員は、とても聡明な方でいらっしゃり、一緒にできるならと思いましたが、何より川西会員からお話をいただいているということで、安心して入会することができました。ありがとうございます。

さて、私はS36年7月生まれ59歳です。田舎生まれの妻、かわいい二人の娘と、忘れ物の多い小学四年生の孫と住んでおります。出身は水害で有名になりました真備町です。水害では、実家は高台にありますので、大丈夫でしたが、農業倉庫に置いていた、田植え機、大型トラクター、縦型乾燥機など、稲作に使う機器はすべて水没してしまい、稲作を今後続けるか否かの岐路に立たされてしまいました。結果、倉庫や田は知り合いに貸し出すことを決めました。大損害ではありましたが、水害で自宅を失われた方々と比べれば、何の支障も無いと言っても良い程です。現在は、小田川の付け替え工事や、土手の拡幅工事が急ピッチで進んでおり、安心して生活できる真備町が復活しつつあります。是非、のんびりと暮らしたいが、山の中は嫌だ。少しは便利なおところがいいと思われ方は、是非真備町にお越しください。本当にいい所です。今は土地の値段も下がっていると思いますので、チャンスははずです。

私は、高校生の時に、これからはコンピューターの時代がやってくる。早く身につける必要があると大阪で学び、大型コンピューターを運用している信販会社に就職しました。しかしながら、ソフトウェアの開発というより、運用の時間が多く、自分の望む環境ではないと感じ、知り合いの紹介で、現在の株式会社ティピカルに転職し、主に、NECの汎用機での開発に携わりました。時代はパソコンへと変わっていく中、我が社にもパソコンのシステム開発体制を導入すべく、現在のオープン系の開発基盤を立ち上げました。4年前に専務となりまして、経営に時間をつかうようになり、一昨年の6月に現在の代表取締役社長に就任いたしました。

話は変わりまして、我が家はマンションですが、趣味で作った家具を使いながら生活しています。ダイニングテーブル、椅子、勉強机、パソコンラックを兼ねた書斎机、ベッドは自作のものです。ソーバイフォー材にコースレッドを使って作ったものですから、とても粗いものですが、お父さんが作ったもので暮らすことで良い教育ができるのではないかと考えながら作ったことを覚えております。勉強机は長女が小学一年生の時に作りましたので20年以上経ちました。次女が使って、今は孫が使っています。長く使えるものですね。全く衰えていません。逆に味が出てきました。これは作り方がいいのか、勉強しなかったからかのどちらかだと思います。また、時間ができたら、家具作りをやりたいと思っています。テニスは長く続けておりました。休日になれば、気の合う仲間とゲームを楽しんでいました。昼食は決まって、もやしラーメンと生ビール。仕事を忘れさせてくれる至福のひとつでした。しかし、突然テニスとお別れする日がやってきました。いつものように、昼食後の大学生とのゲーム。カウント0-30から、サーブを打った瞬間、隣のコートからのボールが私の左足に強烈にヒット。そのまま倒れました。足が立たず歩けない。人生で初めての肉離れでした。ボールが強く当たったような衝撃で、バツツと音がしたのですが、隣のコートには人は居ませんでした。年を取り、筋肉の限界が来ていることに気づかず、若いときと同じようにグツシュ、おまけにビールを飲んでテニスしていたので罰が当たりました。それから、怖くてテニスができなくなりました。最近、孫がテニスを始めたので、孫が上手くなるのを楽しみに球出しをやっています。ゴルフは10年前に仕事の関係で、しかたなく再開しました。20数年ぶりのゴルフは、履ききれないゴルフシューズで両足がつって、周りの方に支えられたという苦い経験を思い出します。やるからには楽しくなければ、上手くならなければ、独学でいろいろな情報をキャッチして試してみました。調べれば調べるほど、やればやるほど奥の深さを知ることになりました。ゴルフへのめり込んできたのが、中部銀次郎の本たちとの出会いでした。中部のストイックさ、物事の考え方に心を揺さぶられ、自分の考えのお粗末さ、準備の無さを反省しました。中部銀次郎さんは、アマチュアゴルフ界のカリスマと呼ばれ、日本アマを6度優勝。プロのトーナメントでも優勝した実績があり、プロへの誘いがありました。生涯アマチュアとしてプレーしました。59歳のとき、食道がんで世界されました。その本の内容は、ゴルフだけではなく、仕事に通じることが多く、メソッドだけでなく、考え方やメンタル面についても教えられることが多かった。その一部を紹介すると、「ラウンド前日の就寝前からラウンドは始まっている。」やれることは全部やった。納得して就寝する。ラウンドの1時間半前にゴルフ場に到着して、心を落ち着かせてコーヒーを飲む。そのためには、余裕を持った時間に起床し、車のスピードも安全な速度で走行し、気持ちを高揚させない。もうこの時点で、その頃の私の行動とは大きく違っていました。その頃の私は、仕事もゴルフも効率化が必要と言うものの、どれだけ時間を使うかが上達のカギと思っていました。寝る直前まで、ラウンドのイメージトレーニング。

できなかった練習や、うまくいってないことを最後の最後まで不安に感じ、どうカバーするかを考えていました。結局、熟睡できないこともしばしば。朝も、できるだけ早く起床して、猛スピードでゴルフ場に向かい、時間の許す限りボールを打つ。そしてスタートぎりぎりまでパティング練習。コーヒーなんてゆっくり飲む時間はない。良く言えばやり尽くしたかったのですがね。ラウンド中にミスをするれば、「なんでじゃ」「そんなはずはない」「ライが悪いから」「あの人のプレーが遅いから」と心を乱していました。できる限りの練習を行っているのであれば、心を落ち着かせてラウンドする。そしてミスしても一喜一憂しないことが大切です。最近では「ミスさせてくれてありがとう。練習課題が見つかったよ」と、心底思えるようになりました。あるきっかけで、ゴルフクラブのメンバーになりました。メンバーになると初対面の方、若い方、20歳も年上の先輩の方とのラウンドも多々あります。ペースもバラバラ、ティーグラウンドも違ったりします。急に時間ができれば、一人予約でのラウンドにも行きました。見知らぬ他県の方々とも有意義にラウンドができるようになりました。心掛けているのは、「皆さんと楽しむこと」。ゴルフ好きの人とゴルフ談義で「ああでもない」、「こうでもない」と語れる時間が、もやしラーメンと生ビール以上の至福の時間となります。

クラブメンバーになりましたので、競技ゴルフとの出会いがありました。これは楽しくとばかりはいきません。厳密なルールと、今までに味わったことのない緊張の中でのプレーは何とも言えません。あるとき、70台も出るようになってきたし、そろそろ岡山県の試合にでも出て、実力を試してやろうと考えました。初めてシニア選手権に応募。しかし、とんでもないことをやりました。スタートホールで名前をコールされ、音が消えた中で、自分の息遣いだけが聞こえ、震える手で刺したティーにボールが上手く乗らない。かっこよく飛ばしたいけど、徐々に頭が真っ白になる。中にはミスしろと思ってる人もいるかもしれない。「遊びだから、仕事じゃあないのだから気楽に行けよ」と、もう一人の自分が声をかけてくる。お願いだからちゃんと打たせてくれ。このショットだけでいいから、ティクバックはどうしていたかわからなくなる。まずい、ティクバックの仕方が少し違っていた。大丈夫か。もういい、なるようになれ。カキーン。「ナイスショット!」と声が聞こえ、フェアウェイの真ん中。完璧なティーショット。誰よりも飛んでいます。フーっ。何事もなかったかのように振舞いながら、あー良かった。と。しかし、まだ足が震えています。セカンドショットは、みなさん打ち終わって、私の番。打ち上げ入れてもピンまで100y強。ピンはグリーン真ん中なので、PWのアイアンで少し手前を狙ってショット。なんと、シャンク。「シャンクと言うのは、クラブフェイスに当たらず、フェイス手前の棒のふくらみところに当たることを言い、右にとんでもないスピードで飛んで行く危険な球です」ボールは右の林へ。頭の中は真白。まさかそんなはずはない。平静を装って、ドロップして5打目。な、なんとまたもやシャンク。なにがなんだかわからず、再ドロップして7打目。夢であってほしいが、またもやシャンク。ポケットにはもうボールはない。カートから持ってきたボールで、9打目。もう当たらないのでバント作戦。バントもシャンクするが、OBにはならず。悪夢はこれに終わりました。2番ホールのティーショットは当たりそこないで、左のラフへ。セカンドはシャンクが出てOB。2番ホールはなんとか上がったものの、スコアはボロボロです。3番ホールのティーショットは良いとこへ。皆さんから、「気を取り戻して頑張らなさい」と励ましの言葉をいただく。ところが、セカンドショットがシャンク。なんとこの日のために用意したスリクソンのZ-STAR新品1ダースが全部山に消えました。予備の球で打ちましたが、このままでは他の皆様に迷惑をかけ、足を引っ張ってしまうと思い、棄権することを決めました。なんと3ホールも消化せずに棄権。体調不良のための棄権ならまだいいのですが、シャンクのため棄権とはなんとまあこっぴどい。ゴルフをなめてました。シニアをなめてましたね。あまりにも

早く終わってしまったので、練習場に行きましたが、どのクラブでも完璧なショットが出ます。シャンクなんて出ません。ゴルフの神様と、中部大先生にお詫びをするとともに、謙虚さを忘れていた自分を悔いました。今は皆さんにこんなお話ができますが、当時は恥ずかしくて、なかったことにしたい人生の一コマでした。良い経験をさせていただいたと思っていますが、あのとき一緒に回った方々の頭からは消えてほしいと、今でも思っています。仕事のため、健康のため程度に思っていたのですが、競技志向の方々との出会いで、想像していた以上にゴルフが面白くなっています。上を見ればキリがないのですが、テニスで日本一は絶対に無理。しかしゴルフは、日本一は無理でも岡山県で1位になる可能性があるような気がします。仕事を引退したときには、今以上の力を発揮できるよう、今から努力しておきたいと思っています。

遊びの話ばかりでしたので、最後にもう少しだけ仕事に触れて終わりたいと思います。サラリーマンでしたし、このような立場にならうとは一切考えず、かむしゃらに業務をこなしてきました。先代から、いまだにアドバイスをいただきながら、四苦八苦しながら進めておるところです。新たな軌道に乗せて、経営のノウハウを蓄積し、世の中に貢献できるシステムづくりを目指します。そして、次の世代に上手くバトンタッチできるよう頑張っていきたいと思っています。時にはシャンクも出るかもしれませんが、棄権することなく、ホールインワンは望まず、コツコツと最終ホールで次代にバトン渡し、ホールアウトできればと思っています。

以上でインシエーションスピーチを終わります。皆さん、これからも何卒よろしくお願ひいたします。ご清聴ありがとうございました。

## 退任挨拶

### ◎退任挨拶

副幹事 久松 哲生 会員



この一年、副幹事として司会進行を務めさせていただきました。皆様には、お支えいただきありがとうございました。拙い司会で、お聞き苦しい点、少し早く終わってしまった例会など失敗もございました。申し訳ございませんでした。ただ、時間が延びて皆様にご迷惑をおかけしなくて良かったなど、ポジティブに考えながら一年間乗り切らせていただきました。

さて、一年前に副幹事をさせていただくにあたって、自分なりの目標上げさせておりましたので、それを振り返りながらお話ししたいと思います。

一つは、スムーズな進行は当然のことながら、一年を通してRCIについてもっと勉強をするということでした。昨年度は会報部会として週報を作るにあたって一年間のスケジュール等を勉強させていただきましたが、今年度は表面的なものだけではなく、その行事に各会員の皆様かどの様に関わっておられるのか具体的に勉強させていただきたいと思っておりました。しかし、この一年はコロナに始まりコロナに終わってしまいました。8月、1月2月、5月6月と休会が続く、次回も含め29回しかなく、夜間例会も無くなってしまいました。理事役員会にも初めて出席しましたが、コロナ対応の議論が多くを占めてしまいました。会社経営と同様に臨機応変に対応して行くことを学ばせていただきましたが、通常の活動について、もっと深く、もっとドロドロしたところを勉強したかったなど残念な気持ちです。

もう一つは、プログラム等の進行の打合せで、皆様と交流を深めていくことでした。しかし、これも例会数が少なかったこともあり、なかなか上手くいかなかったなと思います。ただ、少ない機会ながら、もっと綿密に打合せをしておけば、例会が早く終わってしまうことも無かったかと反省しております。来年度は通常の席に戻り、皆様と交流を深めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

難しい舵取りをしていただいた平松会長、鈴木幹事 ひな壇の皆様、ありがとうございました。感染者を出すことなく運営ができたのは会長・幹事のご尽力と、何よりも会員の皆様のご協力あってのことだと思っております。本当に感謝申し上げます。

### ◎退任挨拶

S.A.A. 野田 洋市 会員



コロナに始まり、コロナに終わった一年となりました。

今期、初めてのひな壇としてS.A.A.を担当させていただき感謝を申し上げます。なお、前任者の笠原会員にも引継ぎに際し、丁寧な対応をして頂き感謝しています。

平松年度がスタートするに当たり平松会長より、ロータリーソング斉唱は厳粛なセレモニーであり、ひな壇は一条乱れずその場で起立し斉唱すること、また国歌(君が代)斉唱は国旗に向かって直立不動で斉唱しようという提案があり「ころを一つに」のローガンと共に実践して参りましたが、時に私が立ち遅れ、揃わないことがあったことは反省事項です。(ただしこれは平松年度の限定です)就任時に掲げた例会の充実と言うことはコロナ禍で安心安全に配慮した会場運営が優先となりました。実際には鈴木幹事が常に先行して気を配っていただいた様に思います。いずれにしても、北西RCには例会を通してひとりの感染者が出なかったと信じており、皆さまのご協力に感謝申し上げます。またスマイル予算の内、いわゆる例会スマイル予算(162万円)は、昨年未まで順調に推移していましたが本年度に入り休会の影響で未達とはなりますが、それに連動して委員会活動や奉仕活動も中止が相次ぎ、結果的には収支バランスが取れたという形は望んでおらず、やや不満足で消化不良となりました。潤沢なスマイルは充実した奉仕活動を支えます。次期以降はコロナが収束し本来の形に戻るべく期待致します。また1年間、担当しての個人的な所感ですが、①私の様な高齢者になりますとスマイルの用紙がめくりにくいのです。そこで100円均一で小さな指サックを買ってきて対応いたしました。②は焼き菓子(ハローファクトリー)との連絡が、事務局の中山さん任せになってしまったことが反省事項です。

いずれにしてもコロナ禍でのS.A.A.の役割はやや消化不良となりましたが、私個人としては、同時期に米山奨学生のカウンセラーやNPO法人シュルターモモへの派遣理事として大変充実した一年を過ごすことが出来ました。この貴重な経験を今後の人生に活かして参りたい。改めまして会員の皆様、会長を初めとする、ひな壇の皆様、サポートしてくれた児島副S.A.A.、ホテルグランヴィア様や事務局の中山さんに感謝します。有難うございました。以上です。

### ◎退任挨拶

副S.A.A. 児島 正典 会員



本年度の当クラブのスローガンは、「ころを一つに」でした。今年はジョンレノンが世界が一つになることを願って歌った「イマジン」が発表されてから、半世紀になります。半世紀経った今の中は、ジョンレノンが夢見た世の中になりましたでしょうか。ここで、四つのテストを今一度見てみましょう。

一つ目の真実かどうか、についてです。コロナ禍において各国首脳のスピーチが話題になりましたが、称賛を受けたのは自分の信念に基づいて自分の言葉で語ったスピーチではなかったでしょうか。誰かが書いた原稿を棒読みするだけでは、賛同は得られなかったように思います。

二つ目のみんなに公平か、についてです。世界中で貧富の格差が益々、大きくなっているようです。人種や性別、出自によらず能力の高い者が成功を手に出るのが、平等な社会と考えられてきました。しかし、やれば出来ると努力しようにも、その機会さえ奪われている多くの子供達がいいます。

三つ目の好意と友情を深めるか、についてです。世の中は、敵意と分断をあおる出来事に満ちてはいないでしょうか。世の中を取り巻く問題は、益々複雑を極め、様々な考えを持った人々が互いの知恵を出し合わないが容易には、問題を解決出来ないのが現状であるのも関わらず、です。

四つ目のみんなのためになるかどうか、についてです。特定の一部の人にしか利益にならないような政策はないでしょうか。多様な考えを持った人々が、協力しあって複雑な問題を解決して行くべき現在において、一部の人のみ優遇されているのは、他の人は疎外感を感じ、対立が深まるばかりです。

ジョンレノンの願いは半世紀経っても夢のままのようです。彼は、永遠に叶えられない夢のことを歌ったのでしょうか。歌の中で、自分のような思いを持っている人は、自分一人ではなく、いつの日かみんなが、自分の考えに加わってくれることを願っています。

私たちロータリアンは、大きな決断をする時、また、日々の何気ない行動においても、四つのテストを意識して行動していれば、ジョンレノンが描いたような、争いのない穏やかな世の中になっていくのでは、ないでしょうか。そんな日が来るのを、楽しみにして日々を過ごして行けたらと思います。

本年度、副S.A.A.を務めさせて頂きました児島正典です。1年間どうもありがとうございました。

## 前回6月21日の例会記録

### 出席の状況

会員数 47名(内出席免除者 0名)

出席者数 35名

欠席者数 12名

出席率 74.47%

欠席者 花房, 樋口, 入江, 笠原, 小林, 三宅, 森本, 岡本(和), 奥田, 田原, 丹治, 氏房

ビジター 〈岡山北RC〉双田 直 様

### 会長報告

会長 平松 信

緊急事態宣言が5月16日から6月20日までの36日間に延長となりました。そのため、岡山北西RCの例会は連休明けの5月10日から6回休会とさせていただきます。岡山県の新型コロナウイルス感染者数が減少し、昨日緊急事態宣言が解除されました。会員の皆様のご協力とご支援に深く感謝申し上げます。

2020～21年度の岡山北西RCの運営方針の目標の最初に新型コロナウイルス対策を記載していましたが、本年度はまさにこの対策に追われる1年間でした。

しかしながら、新型コロナウイルスワクチン接種の普及により、近い将来、RCの会員が、互いに手に手つないで、楽しくそして夢多く語り合えるようになることを信じています。

6月に台湾での国際大会は、伝統的な形式ではなく、世界の全ロータリアンが参加できるバーチャル国際大会となりましたが、ロータリーの友6月号に「台湾～近いうちにきっと会える～」の記事があります。日本のRCの海外姉妹クラブは、台湾のクラブが最も多く、日本と台湾のロータリアンの関係がさらに親密になっているようです。

2020～21年度のGovernor's Monthly Communication Vol.12が6月1日に発行され、「岡山北西RC創立30周年を迎えて」を記載させていただきました。

本年度の例会は、本日と次週の2回となりました。ひな壇の会員、理事、役員のみならず、すべての会員が、この1年間岡山北西RCを支えていただきましたことに厚く御礼申し上げます。

本日のプログラムは、これからのご活躍を期待しています井川浩典会員のインシエーションスピーチです。そして、退任挨拶をされます今年度のひな壇で心温まる活動をしていただきました野田洋市S.A.A.、児島正典副S.A.A.、久松哲生副幹事に、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもロータリアンとして、皆様とところを一つにして、力を合わせてともに歩んでいきたいと思っております。よろしく願いいたします。



### 幹事報告

幹事 鈴木 一生

- ① ロータリー財団より樋口会員にポー ル・ハリス・フェローの認定状及び襟ピンが届いております。
- ② 本日11:30 より「第3回IM実行委員会」が開催されました。
- ③ 本日例会終了後13:30より「第7回被選理事・役員会」が3F「サファイアの間」において開催されますので、次年度理事・役員の皆様はよろしく願いいたします。
- ④ 財団室NEWS5月号、6月号、ハイライトよねやまVol.255、ロータリー日本100年史のチラシ、他クラブ週報を回覧いたします。
- ⑤ 子どもシェルターモモNews Letter No.20、被害者サポートセンターおかやまVSCO(ヴィスコ)機関紙第16号、岡山済生会福祉施設合同広報誌「木もれ陽」No.80を回覧いたします。
- ⑥ 2021-22年度IM 実行委員会編成表を配付しております。
- ⑦ ロータリーの友6月号、ガバナー月信 Vol.12を、郵送しております。
- ⑧ 6月のロータリーレートは、1\$ =109 円です。



### 次年度委員会構成について

次年度幹事 日笠 伸之

現在、社会のデジタル化推進の流れやコロナ感染対策など有事に向けた対応といたしまして次年度のクラブ委員会に「デジタル部会」を会則に準じ、創設に向けた検討を進めておりますので皆さまのご理解・ご協力を宜しく願いいたします。

### スマイル報告

平松会長：新型コロナウイルス感染拡大が収束し、岡山北西RCの例会を再開できましたことに、そして会員の皆様のご高配に心から感謝申し上げます。また、結婚記念日の美しい花束をいただきまして有難うございました。

相原会員：岡山北RCの双田(そうだ)様、ようこそご来訪いただきました。久しぶりの例会も本日を含めあと2回となりました。次回のお席もよろしくお願いいたします。

笠原会員：例会再開を嬉しく思います。また、結婚記念日に素敵なお花をありがとうございました。

久松会員：お久しぶりでございます。残り2回となってしまいました。来週のご出席をよろしく願い致します。井川会員、インシエーションスピーチ楽しみにしております。

駒井会員：先日、結婚記念日のお花を頂きました。コロナ禍の中、とても気持ちが華やきました。

山下会員：久しぶりに例会が出来スマイルします。ワクチン2回済みしました。

ひな壇の皆様一年間御苦勞様でした。去年もでしたがコロナに振り回されましたね。

西岡会員：久しぶりの例会にスマイルします。

野田会員：去る6月6日のシェルターモモの通常総会がリモートで開催され東理事長から私が議長に指名されました。令和2年度の3月決算は計画通りの実績で着地致しました。(金額はのせませんが約700万円です。)皆様のご支援に感謝し、取り急ぎご報告申し上げます。

8件35,000円(累計1,326,000円)